



〈ゆうゆうの里〉震災対応ニュース No.167

このニュースは財団のホームページにも掲載しています http://www.yuyunosato.jp/news_info.html

震災を風化させない！

有楽町交通会館ギャラリーで「震災を風化させない！」

大槌町民が撮影した写真展が開催されました。

2013年3月11日 (財)日本老人福祉財団

103-0012 中央区日本橋堀留町1-7-7

Tel:03-3662-3611

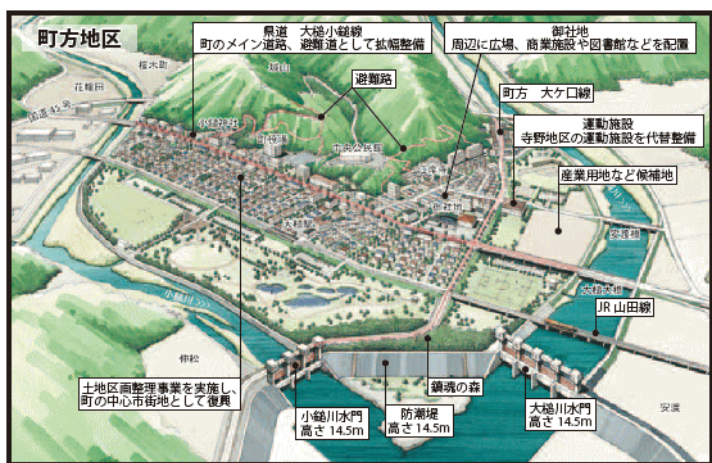
Fax: 03-3662-3656

大震災から2年、被災地復興に向け支援を忘れない

震災から2年経ちます。多くの被災地でガレキは片付きましたが、仮設住宅での生活が長く続いたり、故郷を離れた生活を余儀なくされたりと、復興はなかなか進んでいません。少しでも、被災地への支援を続けていきたいと考えています。

大槌町、復興まちづくりプラン完成

●財団が支援活動を行った岩手県大槌町では、海の見えるつい散歩したくなるこだわりのある「美しいまち」をコンセプトに復興まちづくり事業が行なわれています。



●この図は町役場のある町の中心部の復興予想図です。高さ14.5メートルの防潮堤に囲まれ、仮設場庁舎などのある高台（城山）へ避難が容易な地区に新市街地を作る計画です。復興には長い時間がかかると思いますが、心をつないでいきたいと思えます。

サンタが100人やってきた 今年の2倍、1万個超のプレゼント配りました

- 今年度も12月23日、24日、全国から昨年を上回る沢山のサンタ（ボランティア）が大槌町、大船渡市、陸前高田市などでプレゼントを届けました。
- 今年も、財団に寄せられた支援金の中から「サンタが100人」プロジェクトに10万円を支援しました。



三陸の海の幸をゆうゆうの里で

- 被災地に赴いての支援活動は終わっても、少しずつの長い支援をしていきたいと訴えてきました。
- ゆうゆうの里の食事に三陸の食材を使うことで、被災地の働く方々を支援することができます。〈ゆうゆうの里〉でも、三陸のワカメを使った一品を使うなど工夫をしています。



●写真は3月1日の浜松〈ゆうゆうの里〉で「ぶりの照り焼き」の付け合わせにした三陸ワカメです

ゆうゆう祭など、物産販売でも支援

- 復興支援グッズをゆうゆう祭などでご紹介してきました。買物をするこも、小さな支援活動と考えています。ゆうゆう祭りなどでの物産販売の「利益」は164,395円になり、全額支援金にあてました。皆さまの暖かいご協力に心より感謝申し上げます。陸前高田「奇跡の一本松」をデザインしたTシャツです。



募金総額は1,598万円に

- 4月から今日までに寄せられた支援金は308,991円〈物産販売「利益」含む〉です。募金累計は1,598万6,309円になりました。これまでお知らせしたとおり、昨年3月までに1,500万円を超える募金を皆さまからお預かりし、日赤・共同募金会への義援金、現地で活動する団体への支援金としてお渡ししてきました。
- 今年度は、12月に「サンタが100人」プロジェクトに10万円寄附しました。現在の募金残高は208,991円です。
- 暖かいご支援に御礼申し上げます。



●大船渡市のワカメ生産者のみなさんです